



のぞみふくいニューズレター

第32号（H23年冬号）

（財）がんの子供を守る会 福井支部 発行

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

平成23年卯年、2011年が明けました。年末からの大雪で、北陸は雪との格闘でした。皆様お疲れ様です。

このニューズレターをずいぶん休んでしまいました。申し訳ありません。毎月発行に無理があり、今年は2ヶ月に一回の発行にさせていただきます。なにとぞご了承くださいませ。本年度も福井に支部があるということが、「皆様の安心につながれば」をモットーに活動していきます。皆様お気軽にご相談等、お寄せください。

節分が過ぎ、立春。ようやく雪もやみ、暦どおり少しずつ気温が上がって気ましました。春が少しずつやってきます。インフルエンザはまだ、はやっています。皆様お体には十分お気をつけられ、本年度も良い1年でありますように。（文責：代表幹事）



12月5日(日) ピアカウンセリング交流会 坂井地区

坂井市丸岡町八ヶ郷のいきいきプラザ霞の郷内、坂井市社会福祉協議会の研修室でピアカウンセリングを行いました。今回は23歳で娘さんを亡くした母親の方が、誰かとお話したい。聞いてほしいとはじめておみえになりました。参加者は、雪うさぎの会のメンバーばかりだったので、亡くした親の会になりました。いくら成人しても子どもは子ども。先立たれる思い、逆縁は同じです。思いを共有し、少しは気持ちが楽になられたようでした。福井県（行政）には病気で子どもを亡くした親御さんのフォロー、グリーフケアのシステムがありません。小児がんでない病気、成人でも子どもさんを亡くされた方のお話を聞く会、交流会は支部でやっていこうと思います。

12月17日(金)～19日(日) 小児がん学会

リーガロイヤルホテル横の大阪国際会議場にて開催されました。財団法人がんの子供を守る会の公開シンポジウム★午後15:00～17:00「緩和ケアのガイドライン—この子のためにできること—」に参加しました。緩和ケアのガイドラインがようやく発行に至りました。このガイドラインは、患児が、ターミナル（手を尽くしても治すことが出来ない、最期を迎えなければならなくなる場合）になったとき、家族はどうすればいいのか、家族だけでなく小児がんの子どもを支える全ての人に読んでもらえるように作られたものです。全国の関係病院、保健センター、に配られました。一冊の絵本のようになっています。ご入用の方は支部までお知らせください。差し上げています。



12月22日(水) 福井大学病院小児病棟クリスマス会にお話タイムが参加。隔月クラウンがやってくる。

本部からの提供のプレゼントを用意し、子どもたちにプレゼントしました。お話タイムが、クリスマス会に参加しました。出し物は、パネルシアターと、ゲームでした。少しの時間子どもとお母様の楽しい時間になったと思います。



福井大学病院小児病棟に二ヶ月に一度クリニックラウンがやってくるようになりました！！ビハーラ福井さんの資本提供と、病院のご協力により、病室内をクラウンが入っていけるようになりました。何より、子どもたちのあふれる笑顔が目につかびます。子どもの喜ぶ姿が一番です。



福井県東養護学校の教育カウンセラー 吉田先生による、小児難病の子どもの教育相談会を開催し、その後のぞみに相談がある方とピアカウンセリングをいたしました。小児難病患者の教育支援も大きな問題です。進学、復学。学校環境。教育者との関係。元気な子ども以上に教育者にわかってもらわなければなりません。小児がんの患者さんのお母様が二人お見えになりました。ピアカウンセリングにも参加していただき、お話を伺いました。お二人とものでみを知っていただき、本部に電話相談もしたそうです。インターネットで調べたと。ホームページは重要で、かつ、あなどれません。来年も教育相談を行います。



平成23年2月以降の 小児がんほか関係の行事 予定

★ 平成23年2月6日(日) 午後1時30分から4時 福井県民ホール (AOSSA 8階)

「小児医療を考えるシンポジウム」 主催：福井県健康福祉部地域医療課

★ 平成23年2月19日(土) 午後1時から4時 福井市地域交流プラザ「アオッサ」6階レクリエーションルームA・B

「すべての子どもに子ども時間を・クリニックラウンと共に」 主催：特定非営利法人ビハラー福井 クリニックラウン協会

→13:30～講演 「クリニックラウンの役割と現状について」・15:00～ワークショップ 「笑いの大切さとコミュニケーション方法を学ぶ」・16:00～終了

★ 平成23年2月26日(土) 午後1時から4時 ホテル金沢 2階 ダイヤモンドルームB (金沢市堀川新町1-1)

「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム 金沢医科大学市民公開講座—小児がん治療の進歩—～小児がん医療を考える～」

主催：金沢医科大学大学院医学研究科 共催：北陸がんプロフェッショナル養成プログラム

→守る会として「小児がんの子どもたちと家族に出来ること」として福井支部より坪田。富山支部より笠井氏が発表いたします。

★ 平成23年2月26日(土) 午後2時から5時 兵庫県立私学会館4階大ホール (神戸市 JR 元町駅・阪神元町駅より3分)

「第33回近畿小児がん研究会—公開シンポジウム—」 主催：近畿小児がん研究会・がんの子どもを守る会関西支部

→「がんの子ども・家族の心と将来」「小児がんの晩期障害を考える」をテーマにしています。

★ 平成23年3月6日(日) 午後1時30分から4時 鯖江市健康福祉センター・アイアイ鯖江2階 会議室 (鯖江市水落町)

「ピアカウンセリング交流会 丹南地区」 主催：がんの子どもを守る会福井支部

→小児がん治療中、終了後のご本人とご家族の交流会と、お子様を亡くされた家族の交流会です。

★ 平成23年5月14日(土) 午後1時30分から4時30分 福井県立大学 交流センター多目的ホール (吉田郡永平寺町)

「小児がんセミナー福井 2011 ～病氣と闘う子どもの心に寄り添って～」がんの子どもを守る会福井支部定期総会

→13時40分～講演：「友達からの遺言—今を生きる私たちの想い。子どもころの入院生活の体験から」講師 鈴木ひろみさん

14時40分～新たに完成した「緩和ケアのガイドライン—この子のためにできること—」の朗読を聞いて、ターミナルについてみんなでお考えましょう。15時30分～分科会 1.治療中、経験者の会「いこっさ」2.子どもを亡くした家族の会「雪うさぎの会」3.

小児病棟ボランティア

注：全て予定ですので、内容が変わることがあります。詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

